

『藤工教育ビジョン』の『2つのチカラ』について考えてみよう！

① 『Agency (エージェンシー)』とは????

◆群馬県教育ビジョンにおける「エージェンシー」の定義◆

『人が誰しも生まれついて持っている、

自分と社会をより良くしようと願う意志、原動力』

私がみなさんに説明する場合には、『自分がいる場所をより良くするために、自ら考え、判断し、行動する力』と言っています。ひとりひとりが『自分のいる場所』をより良くするためにできることがあるはずです！藤工に通う生徒ひとりひとり、教職員ひとりひとりが知恵を絞り、自分ができることを『自ら考え、判断』し、『行動』することによって、必ず『良い変化』が出るはず！

『自分のいる場所』を良くしたいと願う気持ちは『人が誰しも生まれついて持っている』はず！この気持ちを『意識』し、ひとりひとりの気持ちを『結集』し、『行動』に移して欲しいのです！



意見が異なる場合にも粘り強く『対話』による『合意形成』していく経験を増やしていきましょう！

② 『Resilience (レジリエンス)』とは????

簡単にいうと、『失敗や困難で心が折れそうになっても、そこから回復する力』です。みなさんにぜひ意識してもらいたい『生きる力』のひとつです。言い換えれば、『心の回復力』です。

『答えがない時代』『答えがひとつではない時代』と言われるこの時代に、『うまくいかない』ことは、もはや『当たり前』です！誰でもつらい状況や困難に直面することがたくさんあります。

そういうときに、『レジリエンス』という『心の回復力』を意識していれば、一度落ち込んだところから立ち直って、そこからどうするかを考えることができるようになります。意識次第で、『育てることができる力』なのです。

すぐにうまくはいかないのです。だから『試行錯誤』し、徐々に向上させればよいのです！

<挑戦と振り返り、再挑戦のサイクル>

『挑戦』→『結果1』→『振り返り』→『再挑戦』→『結果2』→『振り返り』→『再々挑戦』

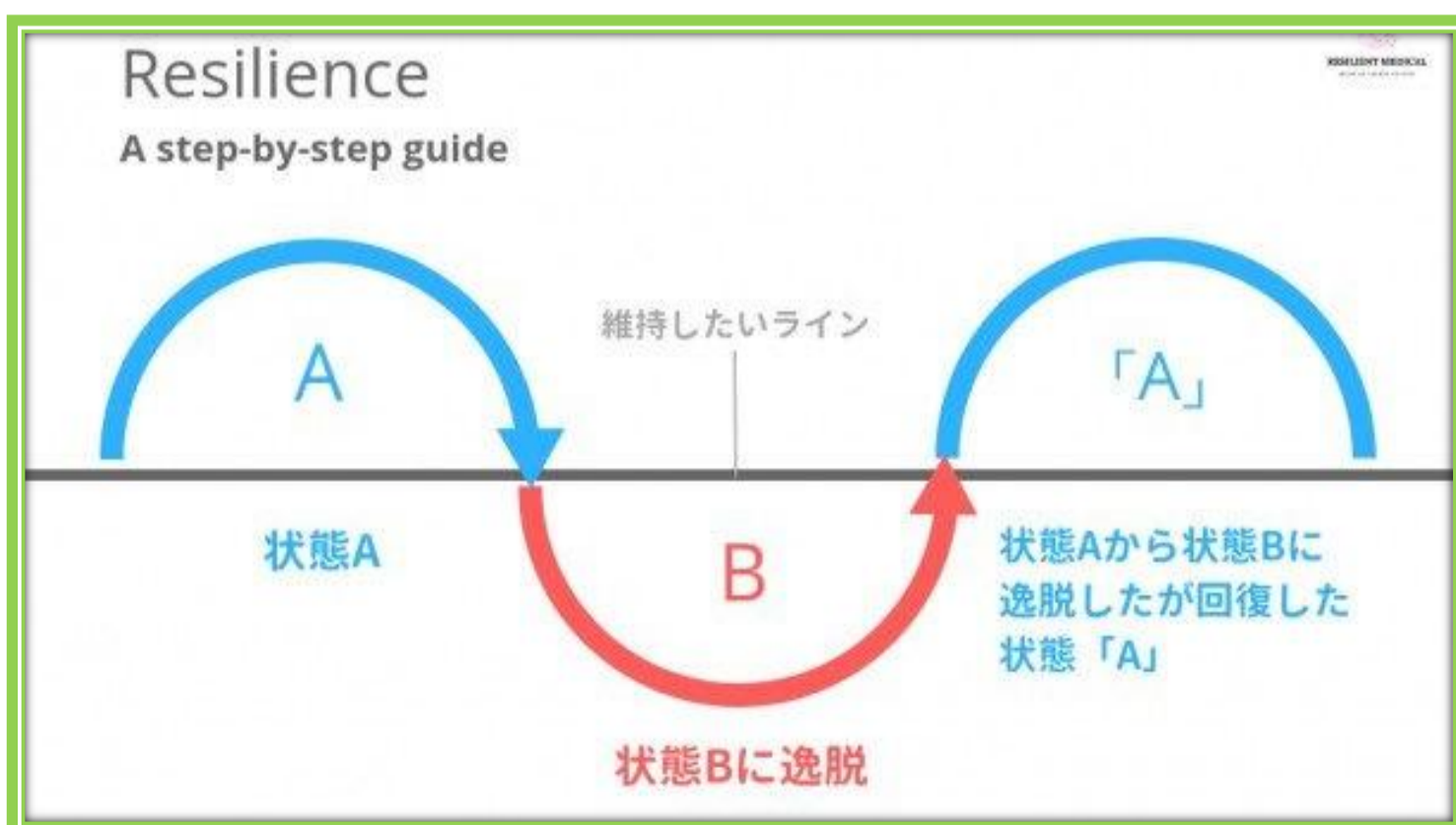
さきほども説明しましたが、今は変化の激しい、予測不能な難しい時代です。ですから最初から『一発で仕留める』なんて困難ですから、上の『挑戦と振り返り、再挑戦のサイクル』のように『繰り返す』ことを最初から想定しておけばよいのです！

私は iPhone ユーザーですが、『iOS のアップデート』機能に感動します。その時点では最新で完璧だった OS ですが、数か月後にまた『進化』させ、顧客に『改善した OS』を提供してくれるサービスがありますね。企業では『不具合が見つかった』なんて責任をそんなに感じることなく『さらに良いものができたので使ってください！』くらいの気持ちではないでしょうか？

『レジリエンス』を例えて言うなら、『頑丈な大木』というよりも『しなやかな竹』のイメージがよいでしょう。一見、頑丈な心でも、大木が強風に耐えきれず折れてしまうように、思いもかけないタイミングでポキッと折れてしまうことがあるかもしれません。一方、『竹のような弾力性、柔軟性を持つ心』であれば、どんなに逆境に押し倒されてもやがて『ゆっくりと立ち上がる・起き上がる』ことができるのです。『立ち直るスピード』は人それぞれで、時間がかかっても構いません。



人が目標に向かって真剣に取り組んでいる際に、『困難』や『失敗』は当然生じてくるものです。したがって、そんなときこそ『レジリエンス』を鍛えるチャンスなのです。ぜひ、みなさんに日ごろから意識していただき、自分のなかで育てていただきたいのです！



<まとめ>

本校教育ビジョンの『Agency』と『Resilience』をセットで意識してみてください！

『道なき道を切り開く』という意味の『BLAZE』と同様によりしくお願いします！（校長 星野 亨）